



**第3回
食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会**

2016年11月1日

 **東洋製罐株式会社**

1. 東洋製罐の概要



東洋製罐株式会社

- ・創立：2012年（創業1917年（大正7年））
- ・従業員数：3,386名（2016年4月1日現在）
- ・売上高：2,968億円（2015年度）
- ・事業内容

金属、プラスチックとそれらの複合材料を素材とした包装容器の設計・開発・製造・販売
食品関連機械、包装システムの販売および技術サービス



1. 東洋製罐の概要

当社の主な製品（飲料用途・食品用途）

	金属製容器	合成樹脂製容器	
	金属缶	プラスチックボトル	パウチ・カップ
飲料用途			
食品用途			

2. 当社が所属する主な業界団体



● 原材料関連

- ・ポリオレフィン等衛生協議会
- ・塩ビ食品衛生協議会
- ・プラスチック工業連盟
- ・色材協会
- ・日本バイオプラスチック協会

● 食品関連

- ・全国清涼飲料工業会(賛助会員)
- ・日本清涼飲料研究会
- ・日本缶詰びん詰めレトルト食品協会

● 包装容器関連

- ・日本製缶協会
- ・アルミ缶リサイクル協会
- ・スチール缶リサイクル協会
- ・日本乳容器・機器協会
- ・軟包装衛生協議会
- ・プラスチック容器包装リサイクル推進協議会
- ・PETボトル協議会
- ・PETボトルリサイクル推進協議会
- ・日本包装技術協会
- ・日本食品包装協会

3. 食品包装容器安全性に関する当社関与



	原材料（材料供給会社）	当社(包装容器製造会社)	顧客（食品製造会社）
製品設計	<ul style="list-style-type: none"> ●「原料」の法規制適合（*輸入原料も同様） ・食品衛生法（試験成績証明書） ・業界自主基準（衛生協議会の確認証明書など） ・その他 海外法規制など 	<ul style="list-style-type: none"> ●「容器」の法規制適合 ・食品衛生法（試験成績証明書） ・業界自主基準（衛生協議会の確認証明書など） ・その他 海外法規制など 	
購買管理	<ul style="list-style-type: none"> ・納入仕様書（原料） 	<ul style="list-style-type: none"> ●原料情報の更新管理 	
製造管理		<ul style="list-style-type: none"> ●製造規範 ・製品スペック, 当社ルールに基づいた製造工程管理 	
製品保証		<ul style="list-style-type: none"> 製品情報の管理（*輸出製品も同様） 製品使用条件の通知 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品規格書 ・要望に応じて各種法規制適合の書類

4. 食品用容器包装規制についての意見・要望



1. 規制体制概論

食品容器包装に合成樹脂が使用拡大した1970年代に現在の告示370号と国内業界自主規制による安全担保体制が厚生省(当時)のご指導の下に始まりました。国内企業間取引については、現在においてもこの体制による安全担保が十分なされていると考えます。しかしながら、当時に比べ国際化、社会意識、情報伝達速度等が大きく変化しており、自主規制外の国外企業製品の汎用化や風評による一般消費者の方の不安感が起きやすくなっています。

今後については、国際化に伴う規制体制の見直し並びに一般消費者の方に安心していただける規制の権威付け並びに公知が望まれると考えます。

2. PL規制

PL規制については、国内自主規制や米国CFR21(所謂FDA規制)に用いられている樹脂組成並びに添加物量規制をベースにした方が証明管理しやすいと考えます。

EU規制で用いられているモノマー並びにSML規制を取り入れた場合、証明並びに公定分析機関の整備が困難となりますが、安全性を数値で見せられるという利点もあります。今後については、樹脂組成並びに添加物量規制をベースにし、必要なモノマー類についてのみSMLを設定する等の費用・管理実情に合った方式を希望致します。